

『Lines of Sight ～それぞれのアジアへの視線～』

● PFWトップページ ● NPIトップページ

Title: 「こどもとわたし」



 矢野 哲郎
1989年生まれ。20歳。目標は飯は欠かさず食べる。かっこつけない。嘘つかない。
駄目な自分がいますが、よろしくお願ひします。

● 最近のエントリー

- 実食！その2 (2010.05.19)
- アナス（暑い） (2010.05.17)
- アイルウーカバ（こんにちは） (2010.05.16)
- オイラ（ありがとう） (2010.05.06)

● アーカイブ

- 2010年10月
- 2010年09月
- 2010年08月
- 2010年07月
- 2010年06月
- 2010年05月
- 2010年04月
- 2010年03月

● 投稿カレンダー

● カテゴリー一覧

● ブックマーク

学校法人 日本写真芸術専門学校
NIPPON PHOTOGRAPHY INSTITUTE

OLYMPUS
Your Vision, Our Future



μ TOUGH-6020

RSS 2.0

10.05.19

実食！その2

[Tweet](#)[Check](#)

どうも矢野です。

今回、スマブリ族の村にホームステイしたわけですが、日本人とは違う文化を持つ彼ら。

当然、食べ物も違うわけで。中には度肝を抜かれた物もありました。

何個か紹介を。皆さんどこまで食べる事ができますか？

その1



マンゴー

木の上に成っていて、よく子供たちがおやつ代わりにパチンコで落として食べていました。
大体酸っぱい。時々甘酸っぱい。熟成してたら甘いんだろうなあ・・・。

その2



何の実なのかは結局分からなかった。身ではなく種を食べます。味は「エグい」。

食べた後、口の中がボソボソします。かなりキツい。

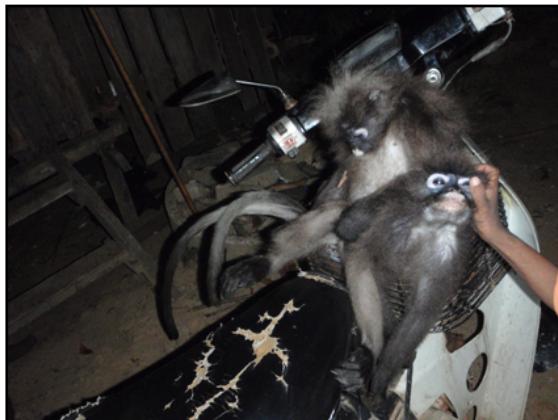
写真には写っていませんが、一緒にメンソール味の葉っぱを食べます。

この実の事をjerantutに来ていたマスミさんに話したら、

「食べ物ではなく、嗜好品では？」 という返事が。

9 いよいよ。船内がわななかつにぎり。。。

その3



猿。はい、猿です。

オランアスリは宗教の関係で地面を歩く動物は食べません。鳥や猿など木の上にいる動物を食べます。

この猿はバテ・バカッ氏がハンティングした猿。いや凄い。



豪快に焼きます。

この後の猿の写真などあるんですが、スプラッタな写真なのでブログにアップできません。

「これを見た後に飯を食べるのか...」と豪邁になりました。



猿料理。独特の肉の臭みをチリで消しています。

こうなると、もう猿の肉と言わなければわからん・・・ん？

アスムお兄さん、何を食べているんですか？

え？モンキーブレイン？へー、猿の脳味噌かー・・・って

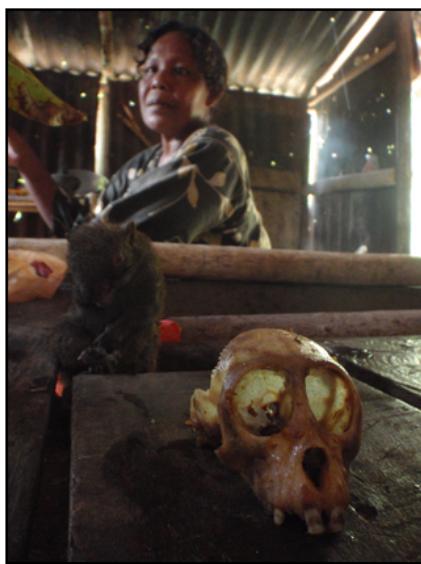
ち ょ っ と 待 っ た





猿の脳味噌。どこかで「脳味噌は豆腐みたいな食感。」って聞きましたが、本当にそうでした。

まさかこんなところまで食べるとは。そしてFWでこんな珍味を食べることができるとは。



ごちそうさま。

カテゴリ：

post by 矢野 哲郎 | 日時: 2010.05.19 | [パーマリンク](#) | [コメント \(2\)](#) | [トラックバック \(0\)](#)

[「こどもとわたし」> 2010年05月 アーカイブ](#)

10.05.17

アナス（暑い）

[Tweet](#)

[Check](#)

どうも矢野です。只今KLにいます。
では前回の続きで。

次に向かったのはオランバッテと同じオランアヌリでも、また違ったオラン・スマブリ族の村です。



バテ・バカッ氏。スマブリ族の人たちの中でも一、二を争うハンターです。



自分の寝床。かなりオープンですが、高床式なので、ゴキブリには困らなかったです。

いきなりですが、泊めていただいたバテッ・バカッさんの子供達紹介

紹介した順から
アジス
バックリー
メリー
サバリア
サバリー¹
ビトゥー² です。皆元気いっぱいです。

動画見てて気づいたんですが、一人紹介できていないですね...。
しかも名前を聞き忘れてた。本当にごめんなさい。バックリーが「プラン！」と言ってますが、
これは「お茶」の事でした。



家の中。



一家団欒。お父さんが引いている楽器は息を吸ったり吐いたりしながら、竹を振動させて音を鳴らす楽器。

ビーンビーンと独特の音が鳴ります。

日本のアイヌ民族が持っている楽器と瓜二つるのが不思議でした。

続く

カテゴリ:

post by 矢野 哲郎 | 日時: 2010.05.17 | [パーマリンク](#) | [コメント \(0\)](#) | [トラックバック \(0\)](#)

「[こどもとわたし](#)」 > 2010年05月 アーカイブ

10.05.16

アイルウーカバ (こんにちは)

[Tweet](#)

[Check](#)

どうも矢野です。

無事にKLに着きました。

では前回の続きを。

バテッ族の村で泊った家



河で水浴び。トイレはそこら辺です。

そこら辺はあまり抵抗はなかったんですが、今回本当に困ったのはジャングルの虫です。

特にゴキブリ。あいつら人を食べます。

私も両膝と両手首を喰われました。

蚊帳をしていましたが、小さいゴキブリが網目から侵入してきます。

一体どうしろと。

オラン・バテツ族の村



タマン・ネガラのエントリーポイント。出発地点。

ポート屋の男たち。





アリアス。今回お世話になりました。本当にありがとうございます。



上がハリス。下がアンメル
次はスマブリ族の村へ...。

カテゴリ：

post by 矢野 哲郎 | 日時: 2010.05.16 | [パーマリンク](#) | [コメント \(2\)](#) | [トラックバック \(0\)](#)

「[こどもとわたし](#)」 > 2010年05月 アーカイブ

10.05.06

オイラ（ありがとう）

[Tweet](#)

[Check](#)

どうも矢野です。

更新するのがずいぶん遅くなってすみません。

K L の学校施設は居心地が良く、とても素敵でした。

で、今どこにいるかと言うと...。



タマン・ネガラにあるオラン・バテッ族の村にいます。

マレーシアの先住民族、オラン・アスリの一民族であるオラン・バテッ族はマレー人とは違っていて、どちらかと言うと、アフリカの人に似ている気がします。





バテッ族のおじいさん。マレー語とバテッ語を話すので、何を言っているのかよく分かりませんが、何故か仲良くなりました。



Jhonさん。数少ない村で英語を話せる人。
20歳の時にアメリカ、カンボジア、ベトナム、中国等を2年間、旅をしていたそうです。
バテッ族の事を色々教えてくれます。

もっと書くことがあります、それは後ほど・・・。

カテゴリ:

post by 矢野 哲郎 | 日時: 2010.05.06 | [パーマリンク](#) | [コメント \(0\)](#) | [トラックバック \(0\)](#)